



ほけんだより



社会福祉法人
光輝の歩福祉会
ゆめの森保育園
H30.2.9



病気をやっつける免疫力を育てよう

子どもは生きていくために必要な免疫力を獲得しながら成長しています。

- ・母乳の中にあるお母さんからもらった免疫（免疫グロブリン）
↓ 生後 6か月頃から少なくなっていく。
- ・子ども自身で免疫を作り始める。（抗体をつくるシステムができてくる。）
～白血球の顆粒球、リンパ球等が働いて病気をやっつけ、乗り越え、記憶し次に同じウイルスにあっても発症しなくなる。



病気をやっつける免疫（免疫グロブリン）



5歳頃には成人レベルの7～8割を獲得：病気にかかる回数が減ってくる。



上手に免疫力を作るためには

- ☆病気と闘っているときは安静・保湿・水分補給・バランスの良い食事が大切です。
- ☆早めの受診で手当て、そして大切にしたいのは親子、家族の関りです。



インフルエンザの登園の目安日数はなぜ違うの？

学校保健安全法では「解熱後2日を経過するまでを出席停止」としています。一方、厚生労働省が「保育所における感染症ガイドライン」を示し、発症した日は数えず「発症後5日を経過し、かつ解熱後3日を経過するまで出席停止とする。（解熱日は含まない。）」を登園基準としています。これは学童児と保育園児の持っている免疫力の違いに配慮した内容です。

0歳児代に、月に何回も発熱で呼び出し電話があった園児も、幼児組になると回数が減り子どもの免疫力がついてきます。一つ一つの病気を乗り越え、次には同じ病気にかからないように白血球・リンパ球・免疫細胞などに記憶させて、免疫力も成長します。受診と安静、温かい手当てと優しい見守りで、子どもの免疫力の成長を応援していきましょう。

インフルエンザに注意！

今年も全国的にもインフルエンザが流行っています。徹底した予防に努めましょう！

主な予防

- ◎手洗い・せきエチケット
(30秒の手洗いでウイルスの80%が洗い流せる)
(マスクを活用し、せきやくしゃみをする時はティッシュで鼻と口を覆いましょう)
- ◎人ごみは避けましょう。
- ◎加湿・換気に気をつけましょう。
(湿度は50%以上、部屋の中ではこまめに換気をしましょう。)



1月、2月のインフルエンザ感染状況

めぐみくみ (1名)
つぼみくみ (1名)

・年明けから2名の感染児が出ていますが、2月13日時点では0名です。

